

県内景況、更に厳しく先行き不安定

新型コロナウイルスによる今後の影響を危惧

～景況 DI 値前月比 55.3 ポイント低下、前年同月比 44.8 ポイント低下～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 1月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比で42.1ポイント低下、前年同月比でも15.8ポイント低下。非製造業では、前月比で68.4ポイント低下、前年同月比でも36.8ポイント低下。

在庫数量 製造業では、DI 値前月比で10.5ポイント低下、前年同月比でも15.8ポイント低下。非製造業では、前月比、前年同月比ともに25.0ポイント低下。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比、前年同月比ともに10.5ポイント低下。非製造業では、DI 値前月比、前年同月比ともに15.8ポイント低下。

取引条件 製造業では、DI 値前月比、前年同月比ともに10.5ポイント低下。非製造業では、前月比で同水準、前年同月比では5.3ポイント低下。

収益状況 製造業では、DI 値前月比で42.1ポイント低下、前年同月比でも47.3ポイント低下。非製造業では、前月比で52.6ポイント低下、前年同月比でも26.3ポイント低下。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比で31.6ポイント低下、前年同月比でも36.8ポイント低下。非製造業では、前月比で26.3ポイント低下、前年同月比でも15.8ポイント低下。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比で10.5ポイント低下、前年同月比では5.3ポイント上昇。非製造業では、前月比で26.3ポイント低下、前年同月比でも21.1ポイント低下。

景況 製造業では、DI 値前月比、前年同月比ともに52.6ポイント低下。非製造業では、前月比で57.9ポイント低下、前年同月比でも36.8ポイント低下。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比で55.3ポイント低下、前年同月比でも44.8ポイント低下となった。製造業では、一般食料品、繊維・同製品関連で、人件費上昇等により収益状況が悪化している。また繊維・同製品、金属加工、金属熱処理関連で、新型コロナウイルスによる中国の生産工場停止等の影響が懸念されている。非製造業では、商店街、サービス業の一部で消費税増税後の影響がなお続き停滞傾向が続いている。旅館・観光、建設関連を中心に、新型コロナウイルスによる今後の影響を非常に危惧している。県内の景況は、更に厳しい状況であり、先行きも不安定。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

1月の全国倒産は、件数713件と、5カ月連続の前年同月比増加、負債総額1,172億5,000万円（負債総額1,000万円以上）で、3カ月ぶりの前年同月比増加となった。負債規模別では、負債5,000万円未満の倒産は440件、構成比は61.7%を占めた。

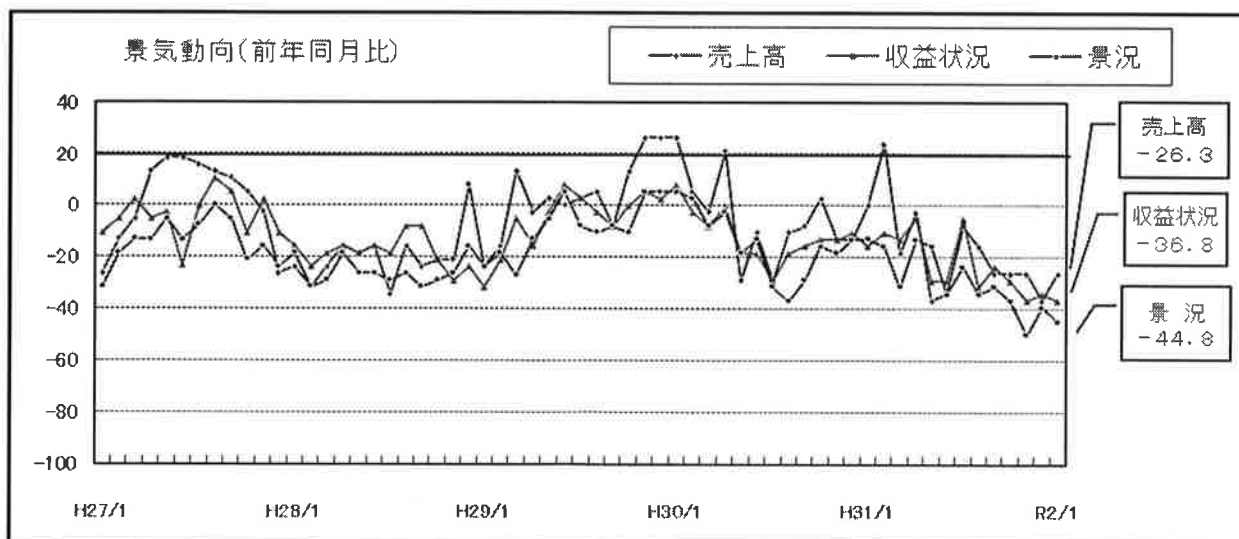
一方、1月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数0件（前月0件）、負債総額は0円（前月0円）となり、2カ月連続で倒産が発生しなかった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報12月分」）

鳥取県の12月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.67倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.57倍）で、前月を0.03ポイント下回った。各所別有効求人倍率では、鳥取所1.55倍、米子所2.12倍、倉吉所2.26倍となった。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.43倍（季節調整値）で、前月を0.35ポイント下回った。

新規求人数は、前年同月比2.9%増加し、有効求人数は4.2%の増加となった。産業別に前年同月で比較すると、建設業（8.0%）、製造業（3.5%）、卸売業・小売業（8.5%）、医療・福祉（38.5%）等で増加した。

新規求職者数は、前年同月比8.1%増加し、有効求職者数は2.4%増加した。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は2.06倍で、前年同月を0.04ポイント下回った。新規求人数は0.1%減少した。



1月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売 上 高	15.8%	57.9%	-42.1 -21.1	0.0%	68.4%	-68.4 -42.1	7.9%	63.2%	-55.3 -31.6
(2)在庫数量	0.0%	10.5%	-10.5 -5.3	0.0%	25.0%	-25.0 -8.3	0.0%	16.1%	-16.1 -6.4
(3)販売価格	0.0%	10.5%	-10.5 -5.2	0.0%	15.8%	-15.8 -15.8	0.0%	13.2%	-13.2 -10.6
(4)取引条件	0.0%	10.5%	-10.5 -10.5	0.0%	0.0%	0.0 5.3	0.0%	5.3%	-5.3 -2.7
(5)収益状況	0.0%	42.1%	-42.1 0.0	0.0%	52.6%	-52.6 -21.0	0.0%	47.4%	-47.4 -10.6
(6)資金繰り	0.0%	31.6%	-31.6 5.2	0.0%	26.3%	-26.3 0.0	0.0%	28.9%	-28.9 2.7
(7)設備操業度	10.5%	26.3%	-15.8 -5.3						
(8)雇用人員	5.3%	15.8%	-10.5 -15.7	0.0%	26.3%	-26.3 -21.1	2.6%	21.1%	-18.5 -18.5
(9)景 況	0.0%	52.6%	-52.6 0.0	0.0%	57.9%	-57.9 -15.8	0.0%	55.3%	-55.3 -7.9

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売 上 高	26.3%	42.1%	-15.8 10.5	15.8%	52.6%	-36.8 10.6	21.1%	47.4%	-26.3 10.5
(2)在庫数量	5.3%	21.1%	-15.8 0.0	0.0%	25.0%	-25.0 -8.3	3.2%	22.6%	-19.4 -3.3
(3)販売価格	0.0%	10.5%	-10.5 -5.3	10.5%	26.3%	-15.8 -15.8	5.3%	18.4%	-13.1 -10.5
(4)取引条件	0.0%	10.5%	-10.5 -10.5	0.0%	5.3%	-5.3 5.2	0.0%	7.9%	-7.9 -2.6
(5)収益状況	5.3%	52.6%	-47.3 -15.8	10.5%	36.8%	-26.3 10.6	7.9%	44.7%	-36.8 -2.6
(6)資金繰り	0.0%	36.8%	-36.8 10.0	5.3%	21.1%	-15.8 10.5	2.6%	28.9%	-26.3 5.3
(7)設備操業度	21.1%	26.3%	-5.2 -10.4						
(8)雇用人員	21.1%	15.8%	5.3 -5.3	0.0%	21.1%	-21.1 -10.6	10.5%	18.4%	-7.9 -7.9
(9)景 況	0.0%	52.6%	-52.6 -5.2	5.3%	42.1%	-36.8 -5.2	2.6%	47.4%	-44.8 -5.4

*D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 同業他社との競争が激しいが、販売価格は変わらない。人件費の高騰や原材料・副資材の値上げに対応し切れず、収益確保に苦慮している。

醤 油⇒ 売上高は、前月比、前年同月比ともに減少。味噌、醤油は正月に備えて、年末に購入されることが多いため、1月は例年売上高が減少する。

【繊維・同製品】

婦 人 服⇒ 受注単価が上がらない中であって、最低賃金引上げによる人件費上昇により収益状況は厳しい。暖冬の影響で、今年は特に重衣料の動きが悪い。期中の追加生産の受注もない。

ニット製品⇒ 中国で発生した新型コロナウイルスの影響により、中国生産委託分の納期遅れのリスクが高まっている。春節明けの現地生産工場の稼働状況及び物流機能の規模によって、春夏物衣料の供給に影響がでる。

【家具装備品】

⇒ 売上高は、前月比、前年同月比ともに減少。暖冬のため売上は伸びず、新型コロナウイルスの影響が今後懸念される。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で不変、製材品の生産量は前月比でわずかに減少。合板の生産量も前月比わずかに減少。原木は降雪も少なく例年に比べ順調に出材しているが、建築需要に活発さはみられず製材品の動きには一服感が見られる。プレカット加工の稼働率は、前月比15%減少、前年同月比25%増加となった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 全般に低調ながら、前月の反動増が多少出たため、売上高は、前月比、前年同月比とも若干の増加。市場規模は確実に縮小しており、先行き不安が増している。

【印 刷】

⇒ 1件当たりの受注数量が減少している。受注件数を増やすためには企画提案が不可欠である。内部的には、品質を維持しなければならない。ミスは致命的であり、コストは上がり、生産計画にも支障をきたす。外向きにも内向きにも今まで以上の更なる工夫が必要。用紙の他に、インク・段ボールなどの資材の値上げもある。価格へ転嫁しないと収益・資金繰りに影響が出る。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 1月の生コン出荷量は、前年同月比で109%。地区別の出荷状況は、東部地区は98%、中部地区は120%、西部地区は120%。一部のエリアで競合による共同販売価格の軟化がみられるが、総じてコスト面で限界が来ており、中部は1月より値上げによる新単価を打ち出し、

西部でも同様に値上げを検討している。油類の値上げは輸送コストに直結する問題だけに、需要の減少と合わせて経営を圧迫しており、生産場の集約化を更に検討している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、物件が少ない状況に変わりなく、仕事量が減っているところもあるが危機感は薄い。機械加工は、引続き自動機関連が厳しい。金型関係は、当面の仕事を確保出来ているところもある。今後は、新型コロナウイルス感染拡大による操業停止等の影響が懸念される。

鉄骨加工⇒ 高力ボルト不足については、3～4カ月程度の納期となり不安感は払拭されてきた。受注については、今後物件が出てくるという情報もあり期待がもてる。東京などの再開発大型案件については、オリンピック・パラリンピック期間を避けて着工が予定されており、秋口から着工される多くの案件において大型案件を受注する主要ファブ（工場）は来年度後半から再来年度にかけて全国的にかなりの繁忙になる事が予測される。

金属熱処理⇒ 今年度下期頃より受注状況は下降していたが、現在は落ち着いてきている。特殊な製品を加工する大口の顧客状況が安定しているためだが、全体的には米中貿易摩擦に加えて新型コロナウイルスによる中国の生産活動の停止の影響を直接、間接的に受ける顧客は少なくない。前年と比較すると、受注が増加傾向に入る時期であったので、その差は更に拡大する傾向にある。業界においても同様の傾向が顕著であり関東、中京、関西の何れも厳しく、状況の改善は当面難しい。

【電気機械器具】

⇒ 米中貿易摩擦で中国企業の生産活動が落ちているため、輸出製品の影響が徐々に出てきている。回復した製品もあるがマイナス傾向に傾いている。年度末まではこの傾向が続くが、4月以降は不透明。第5世代移動通信システム「5G」が騒がれているが5Gの製品は聞かない。人材不足は依然継続されている。先細りの傾向だがどこまで先細るのか不安が大きい。

非 製 造 業

【卸 売 業】

東 部 地 区⇒ 青果関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに減少。野菜は安値が続き、売上高は大きく減少している。鮮魚関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに減少。カニの漁獲量制限や、親ガニの漁期が終了したことも影響している。

中 部 地 区⇒ 消費税増税後、必要性のある高額商品はあまり影響がないが、全般的に商品の動きはやや沈滞気味となっている。

西 部 地 区⇒ FC チェーン店や大型店の出店により、取引先への影響が深刻となっている。また直売の流れが進むなか、卸売業が淘汰されつつある。

水 産 物⇒ 正月休みもあり稼働日数が少ない月であることに加え、月初め、月末

に時化が続き全体に低調な月となった。巻き網漁は、昨年見られた九州地区でのサバの入港もなく、水揚量は昨年対比半分以上となり厳しい年明けとなった。近海物も時化の影響で松葉ガニも含め安定した水揚げとならず品揃えに窮する状況。紅ズワイガニ漁は昨年の異常相場ではないものの例年にくらべれば依然高値安定で推移した。

リサイクル原料⇒ 国内鉄スクラップ市況は、世界経済の同時減速に加え、中国の新型コロナウイルスの感染拡大などで不安定感が増し、月末に続落する展開となった。古紙市況は、前月同様、輸出需要の減退による荷余りに伴い段ボールが下落した。非鉄市況は、安値のまま月末を迎えた。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、消費税増税後の影響もあり、消費の低迷が続いている。年末年始の動きも芳しくなく、消費マインドが低下している。暖冬で生鮮食品、重衣料も苦戦している。飲食店も新年会の大口の懇親会が減少傾向で、客足が伸びていない。観光客は多く、宿泊関係は安定している。キャッシュレス対策も、消費アップの効果はなく、手数料負担増やキャッシュフローの悪化で中小企業は苦しんでいる。併せて、新型コロナウイルスによるインバウンドの影響が非常に危惧される。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、1月6日から街区内に移転した倉吉市役所第2庁舎が業務を開始したが、駐車場整備の遅れもあり、倉吉銀座商店街への人、車の流れが増えた実感はない。また市役所に勤務する職員が昼食時間に街の食堂などに出て行っている状態もまだつかめていない。活性化に向けて問題を受け入れ、解決策を考えていきたい。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、本通り商店街アーケード中央において、昭和60年から続いている七草がゆサービスが、1月7日開催され、開始30分前から並ぶ人もあり、用意した500食分が1時間余りで底をついた。

境港市の水産物小売は、昨年の秋頃より水産物直売センターの来場者は増加傾向となり、収益が少し上向き始めた。年々増加する中国からの観光客が、魚離れが進んでいるといわれる日本人の売り上げを補填する形で伸びていただけに、新型コロナウイルスの影響による対応に苦慮している。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、年末よりカニツアーが好調で1月5日までの入込数は一般、団体ツアー客とも例年に比べ倍増した。それ以降は気温が高かったものの、砂の美術館の閉館と季節的要因とインバウンドの減少で、鳥取砂丘への入込数は例年より減少した。売上高は、前月比で減少、前年同月比では大幅に増加した。

米子市のホテル・旅館では、12月が年間で最も売上が増加する月であるため、その反動減により、売上高は、前月比で減少し収益状況も悪化した。前年同月比では、降雪がなかったこともあり宿泊人数が増加し、売上高は増加し収益状況も好転した。業界の景況は、新型コロナウイルスの影響も出始め、問い合わせ等の電話も増加しており悪化傾向にある。

また設備の老朽化や人手（人材）不足対策が当面の大きな課題。

三朝温泉では、売上高は、前月比、前年同月比で減少。中国からのインバウンドも低迷している。

大山では、暖冬の影響による雪不足もあり、売上高は、前月比、前年同月比ともに減少した。

【自動車整備業】

⇒ 乗用車の新車販売実績は、普通自動車で前月比6%減少、前年同月比13%減少。軽自動車は前月比11%増加、前年同月比15%減少。貨物自動車は、前月比6%増加、前年同月比10%増加、軽貨物自動車は前月比5%減少、前年同月比23%減少。中古車の新規検査は前月比15%減少、継続検査も前月比5%減少している。消費税増税の影響がなお続いており、しばらくの間は続く予想。

【建設業】

⇒ 1月の県内公共工事实績は、前年同月比で、件数・請負金額とも大幅に減少となったが、年度累計においては、件数・請負金額ともに増加基調が維持されている。設備投資も堅調に推移しているが、住宅建設では持家・借家とも下降超に転じている。先行きの公共投資や設備投資には好調推移が見込まれているものの、技術者、下請け確保難などの人手不足は工事全体に影響を及ぼしている。

前払金保証取扱から見た県下公共工事の動向（1月）は、件数88件（前年同月比33%減）、請負金額52億円（同27%減）となった。請負金額地区別状況（1月末累計）は、東部地区（前年対比21%増）、八頭地区（同28%減）、中部地区（同84%増）、西部地区（同69%増）、日野地区（31%増）となった。

12月の鳥取県新設住宅着工戸数は234戸（持家137戸、貸家97戸）で、前月比11%増加、前年同月比でも7%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 正月休みによる稼働日数の減少から製造業などの出荷量は減少し、荷動きは低調に推移し待機車両が多くあった。復路荷物の荷動きも減少し空車で帰る車両も多く、非効率な運行が多くなっている。売上高は、前月比、前年同月比で減少したほか、燃料価格も値上がりが続いており、収益状況は悪化している。

西部地区⇒ 1月は稼働日数の減少などから、輸送量も減少し売上高も減少した。燃料価格は月初め中東の地政学的リスクが再燃し高騰し始めたが、新型コロナウイルス発生から原油価格は下落し始めた。世界経済をリードしてきた中国経済の急ブレーキが日本企業に与える影響も計り知れず、国内流通にも影響を与えることに懸念している。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・複合施設「打吹回廊」の店舗が埋まるよう、銀座通りの空き店舗、空き地対策に支援頂きたい。（商店街）

最近の指標の前月比D I の推移

		2019年												2020年	前年との増減幅
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
売上高	製造業	-36.8	26.3	15.8	0.0	-26.3	5.3	0.0	-26.3	15.7	-10.5	-21.0	-21.0	-42.1	-5.3
	非製造業	-42.1	5.2	26.3	10.5	0.0	-36.8	15.7	5.2	-5.3	-15.7	-15.7	-26.3	-68.4	-26.3
	全業種	-39.4	15.8	21.0	5.2	-13.1	-15.8	7.9	-10.5	5.3	-13.2	-18.4	-23.7	-55.3	-15.9
在庫数量	製造業	-10.5	-15.8	0.0	-10.5	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	-15.8	-21.1	-10.5	-5.2	-10.5	0.0
	非製造業	-16.7	-8.4	0.0	0.0	-16.7	8.4	-8.3	-8.4	0.0	0.0	-16.7	-16.7	-25.0	-8.3
	全業種	-12.9	-12.9	0.0	-6.5	-16.2	-6.4	-9.6	-3.2	-9.7	-12.9	-12.9	-9.7	-16.1	-3.2
販売価格	製造業	10.5	5.3	0.0	5.3	0.0	-5.3	5.3	0.0	5.3	-10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-21.0
	非製造業	-26.3	-15.8	-10.6	-5.3	10.5	-15.8	10.5	10.6	-5.3	-5.3	-10.5	0.0	-15.8	10.5
	全業種	-7.9	-5.2	-5.2	7.9	5.3	-10.5	7.9	5.3	0.0	-7.9	-7.9	-2.6	-13.2	-5.3
取引条件	製造業	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3	-5.3	-10.5	0.0	0.0	-10.5	-5.2
	非製造業	-10.5	-10.5	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3	0.0	10.5
	全業種	-7.9	-5.3	-5.3	-2.6	-2.6	-2.6	2.6	0.0	-2.6	-5.3	0.0	-2.6	-5.3	2.6
収益状況	製造業	-26.3	-5.2	0.0	-15.8	-10.5	-15.8	-31.5	-31.6	-21.0	-26.3	-31.5	-42.1	-42.1	-15.8
	非製造業	-31.5	0.0	15.8	5.3	0.0	-26.3	5.3	-5.2	-10.6	-10.5	-5.3	-31.6	-52.6	-21.1
	全業種	-29.0	-2.6	7.9	-5.3	-5.3	-21.1	-13.2	-18.4	-15.8	-18.4	-18.4	-36.8	-47.4	-18.4
資金繰り	製造業	-10.5	0.0	5.2	-10.5	-10.5	-26.3	-10.5	-26.3	-15.8	-15.8	-42.1	-36.8	-31.6	-21.1
	非製造業	-15.8	-10.5	0.0	10.5	0.0	-21.1	0.0	0.0	-10.5	-15.8	-15.8	-26.3	-26.3	-10.5
	全業種	-13.2	-5.3	2.6	0.0	-5.3	-23.7	-5.2	-13.1	-13.2	-15.8	-28.9	-31.6	-28.9	-15.7
設備操業度	製造業	-21.0	10.5	15.8	5.3	-10.5	5.3	-15.8	-21.1	0.0	-15.8	-15.8	-10.5	-15.8	5.2
雇用人員	製造業	-5.3	0.0	10.5	10.5	-5.2	5.2	0.0	5.2	0.0	-10.5	5.2	5.2	-10.5	-5.2
	非製造業	-31.6	-5.3	-5.2	10.5	5.2	-5.2	0.0	15.8	-5.2	-5.3	-10.5	-5.2	-26.3	5.3
	全業種	-18.4	-2.6	2.6	10.6	0.0	0.0	0.0	10.6	-2.6	-7.9	-2.6	0.0	-18.5	-0.1
景況	製造業	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-36.8	-31.6	-21.1	-31.5	-57.9	-52.6	-52.6	-31.5
	非製造業	-21.0	-26.3	-15.8	-5.3	-21.0	-47.4	-26.3	-26.3	-42.1	-26.3	-31.6	-42.1	-57.9	-36.9
	全業種	-21.1	-18.4	-13.2	-7.9	-15.8	-31.6	-31.6	-28.9	-31.5	-28.9	-44.7	-47.4	-55.3	-34.2

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2019年												2020年	前年との増減幅
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
売上高	製造業	-10.5	21.0	-36.9	-5.3	-36.9	-21.0	-26.3	-15.8	-31.6	-36.8	-26.3	-26.3	-15.8	-5.3
	非製造業	10.5	26.3	0.0	0.0	-36.8	-47.3	10.5	-15.7	-21.0	-15.8	-26.3	-47.4	-36.8	-47.3
	全業種	0.0	23.7	-18.4	-2.7	-36.8	-34.2	-7.9	-15.8	-26.3	-26.3	-26.3	-36.8	-26.3	-26.3
在庫数量	製造業	-21.1	-15.8	-15.8	-15.8	-26.3	-21.1	-10.5	-10.5	-21.0	-26.3	-10.5	-15.8	-15.8	5.3
	非製造業	0.0	25.0	-8.4	0.0	-25.0	-8.4	8.4	-25.0	-8.4	-16.7	-16.7	-16.7	-25.0	-25.0
	全業種	-12.9	-19.4	-12.9	-9.6	-25.8	-16.2	-3.2	-16.1	-16.1	-22.6	-12.9	-16.1	-19.4	-6.5
販売価格	製造業	10.5	10.6	10.5	5.2	10.5	5.3	10.5	0.0	5.2	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-21.0
	非製造業	-15.8	5.3	10.6	21.1	15.8	-10.5	10.5	15.8	-10.5	-5.3	5.3	0.0	-15.8	0.0
	全業種	-2.7	7.9	10.5	13.2	13.1	-2.7	10.5	7.9	-2.6	-7.9	0.0	-2.6	-13.1	-10.4
取引条件	製造業	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	5.3	-5.3	-5.3	-10.5	0.0	0.0	-10.5	-5.2
	非製造業	-15.8	-10.5	-10.5	0.0	0.0	-5.3	5.3	5.3	-5.3	0.0	-5.3	-10.5	-5.3	10.5
	全業種	-10.5	-5.3	-7.9	-2.7	0.0	-2.7	5.3	0.0	-5.3	-5.3	-2.6	-5.3	-7.9	2.6
収益状況	製造業	-26.3	-26.3	-21.1	-15.8	-26.3	-21.0	-21.1	-31.6	-31.6	-42.1	-42.1	-31.5	-47.3	-21.0
	非製造業	-5.3	5.3	-5.2	5.3	-31.6	-36.8	10.6	-31.5	-15.8	-15.7	-31.5	-36.9	-26.3	-21.0
	全業種	-15.8	-10.6	-13.1	-5.2	-28.9	-28.9	-5.3	-31.6	-23.7	-28.9	-36.8	-34.2	-36.8	-21.0
資金繰り	製造業	-5.3	-15.8	-15.8	-21.1	-21.1	-31.6	-10.5	-26.3	-26.3	-26.3	-36.8	-36.8	-26.8	-21.5
	非製造業	-10.5	-5.2	-15.8	5.2	-5.2	-10.5	5.3	-5.3	5.2	-10.5	-15.8	-26.3	-15.8	-5.3
	全業種	-7.9	-10.6	-15.8	-7.9	-13.2	-21.1	-2.7	-15.8	-10.5	-18.5	-26.3	-31.6	-26.3	-18.4
設備操業度	製造業	0.0	10.5	-21.1	21.0	-5.3	5.3	-21.1	-15.8	-10.5	-15.7	-10.5	5.2	-5.2	-5.2
雇用人員	製造業	-5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	10.5	5.3	10.6	15.8	10.6	5.3	10.5
	非製造業	-15.8	-10.5	-15.8	5.2	-10.5	-15.8	-15.8	-10.5	-10.5	-5.2	-10.5	-10.5	-21.1	-5.3
	全業種	-10.6	-5.3	-7.9	2.7	-5.3	-5.2	-7.9	0.0	-2.7	2.7	2.6	0.0	-7.9	2.7
景 況	製造業	-10.5	-10.5	-42.1	-21.0	-15.8	-31.6	-26.3	-31.6	-31.6	-47.4	-57.9	-47.4	-52.6	-42.1
	非製造業	-15.8	-21.0	-21.1	-5.3	-15.8	-36.8	-21.0	-16.8	-31.5	-26.3	-42.1	-31.6	-36.8	-21.0
	全業種	-13.1	-15.8	-31.5	-13.2	-15.8	-34.2	-23.7	-34.2	-31.6	-36.8	-50.0	-39.4	-44.8	-31.7

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製造業	食料品	0	0	2	0	2	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	繊維・同製品	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	2
	木材・木製品	0	0	4	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	2	2	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	2
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	出版・印刷	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	1	0	1	0	1	0	0	2
	化学ゴム																										
業	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0
	鉄鋼・金属	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	1	
	一般機器	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	
	電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	
	輸送用機器																										
	その他																										
非製造業	卸売業	0	2	4	0	4	2	0	4	2	0	6	0	0	4	2	0	5	1				0	6	0	0	4
	小売業	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	0	1	0	
	商店街	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	4	0	0	3	1	0	3	1				0	3	1	0	
	サービス業	0	1	4				0	5	0	0	5	0	0	1	4	0	3	2				0	2	3	0	
	建設業	0	0	1				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	
	運輸業	0	0	2				0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	1	1				0	2	0	0	
業	その他																										
	19	0	6	13	0	8	3	0	16	3	0	19	0	0	9	10	0	14	5				0	14	5	0	
	100%	0.0%	31.6%	68.4%	0.0%	66.7%	25.0%	0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	47.4%	52.6%	0.0%	73.7%	26.3%				0.0%	73.7%	26.3%	0.0%	
業	38	3	11	24	0	25	5	0	33	5	0	36	2	0	20	18	0	27	11	2	12	5	1	29	8	0	
	100%	7.9%	28.9%	63.2%	0.0%	80.6%	16.1%	0.0%	86.8%	13.2%	0.0%	94.7%	5.3%	0.0%	52.6%	47.4%	0.0%	71.1%	28.9%	10.5%	63.2%	26.3%	2.6%	76.3%	21.1%	0.0%	

情報連絡員報告総括表(令和2年1月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1
	繊維・同製品	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	1	2	0	1	2	0	0	2	1
	木材・木製品	2	0	2	1	2	1	0	4	0	0	4	0	1	1	2	0	3	1	1	2	1	0	3	1	0	2	2
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	出版・印刷	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	1	0	1	1	0	1	0	0	2
	化学ゴム																											
業	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
	鉄鋼・金属	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	1
	一般機器	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	1	2	0	0	2	1
	電気機器																											
	輸送用機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	その他																											
非製造業	卸売業	0	2	4	0	4	2	1	3	2	0	6	0	0	4	2	0	5	1				0	6	0	0	5	1
	小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	商店街	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	4	0	0	3	1	0	3	1				0	3	1	0	3	1
	サービス業	2	0	3				0	3	2	0	4	1	2	1	2	1	3	1				0	3	2	1	0	4
	建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	運輸業	0	0	2				0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	1	1				0	1	1	0	0	2
業	その他																											
	19	3	6	10	0	8	3	2	12	5	0	18	1	2	10	7	1	14	4				0	15	4	1	10	8
	100%	26.3%	31.6%	42.1%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%	89.5%	10.5%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	42.1%	52.6%	0.0%	63.2%	36.8%	21.1%	52.6%	26.3%	21.1%	63.2%	15.8%	0.0%	47.4%	52.6%
	卸売業																											
	小売業																											
	商店街																											